

支部における 社会貢献活動

一般社団法人 全国上下水道コンサルタント協会
事務局調査課長 幡 豆 英 哉

一般社団法人全国上下水道コンサルタント協会（水コン協）の各支部では、それぞれの地域で開催される水環境や上下水道にかかわる各種イベントや、社会に貢献できる活動に積極的に参加しています。

平成29年、各支部が参加した社会貢献活動を以下にご報告致します。

(1)「水循環パネルの貸し出し事業」 北海道支部

北海道支部では支部で作製した水循環パネルを、毎年様々な会場へ貸し出しを行っています。平成29年度は、7月27日から8月8日にかけて「新ひだか町」にパネルをお貸しし、町総合町民センター、静内終末処理場などに展示して頂き、訪れた多くの方々に水循環への理解を深めて頂きました。



写真－1 新ひだか町での水循環パネル展示状況

(2)「広瀬川1万人プロジェクト

～第24回 広瀬川流域一斉清掃～」 東北支部

広瀬川1万人プロジェクトは、杜の都・仙台のシンボルである広瀬川の自然環境を守り、多くの



写真－2 広瀬川で清掃作業をする東北支部の皆様及び集合写真

市民が親しめる広瀬川とするため、100万都市仙台の1%・1万人をキーワードとして、市民・企業・行政などで実行委員会をつくり活動を展開しています。主な活動は、春と秋に実施している流域一斉清掃です。

平成29年度は、9月23日（土）10時から12時にかけて実施し、当日は、雨の心配がありました。清掃作業には良いコンディションのなかゴミ拾いや散策が出来ました。今回の参加者数は全14会場（昨年13会場）で1,952名（同1,847名）、集めたゴミは242袋（同416袋）になり、ゴミは大幅に減少しました。

東北支部としては、今年度で10回目の参加となりますが、会員11社から総勢62名（同57名）が参加していただき大橋左岸会場にて清掃作業をしました。大勢の方にご参加いただき定刻より早めに作業が終了できました。これからも多くの市民が楽しめるよう、自然環境を守る活動の重要性を感じました。

(3) 「仙台市下水道フェア」 東北支部

仙台市下水道フェアは、11月3日（金）文化の日に「青葉区民まつり」に併設するかたちで開催されました。例年この時期は凍えるような寒さの中での開催となりますが、当日は天候にも恵まれたイベント日和となりました。

東北支部としては4回目のブース出展となりますが、恒例となっている出展内容は「下水道のがっこう」と称して「下水道のクイズ」と、例年埼玉県下水道公社様よりお借りしていた装置を参考に東北支部独自で製作し「つまらん管」による実験を行い、さらに参加して頂いた方を対象にくじ引きにより景品を提供しました。毎年、出展内容を改善しており、「下水道のクイズ」では手持パネ



写真-3 「下水道のクイズ」での接客状況



写真-4 「つまらん管」の実験を見学するため集まってきた子供たち



写真-5 仙台市下水道フェア東北支部実行委員の皆様（撮影者を含めて12名参加）

ルを導入しより近い距離で接客を行うなど、今回もリピーターがいるほど好評を頂きました。

今回の出展により下水道について興味を持って頂き、協会として啓蒙活動に役立てたと思います。

(4) 「身近な水環境の全国一斉調査」 関東支部

「身近な水環境の全国一斉調査」は、市民グループと河川管理者が連携して実施する「全国水環境実行委員会」が主催して行う水環境の調査活動で、平成28年度までに全国で延べ約9万3千人が参加しています。第14回目となる「身近な水環境の全国一斉調査」は、平成29年6月4日（日）に実施され、関東支部からは会員会社8社及び本部事務局の社員とその家族の合計99名（大人76名、子供23名）が水質調査に参加しました。

調査地点は、参加者が生活されている地域の身近な河川・湖沼等の55地点で、COD測定と水辺の環境や動植物についての観察を致しました。毎年、参加された方あてに、この調査活動についてのアンケートをお願いしていますが、はじめて参



写真-6 身近な水環境の全国一斉調査水質測定状況（株日水コン・天野様御家族）



写真-7 身近な水環境の全国一斉調査水質測定状況（株日水コン・佐野様御家族）

加された方からは「子供に身近な水環境について興味を持たせるとても良いイベントだと思いました」。さらに、3回目の参加となった方からは「毎年の恒例行事のように楽しくやっています。調査をしているとご近所の方に話しかけられます。話すことも楽しいひとときです」など、嬉しい感想が記されていました。

(5) 出前授業の実施 中部支部

中部支部の「出前授業」は、平成29年度で4回目を迎えました。上下水道の仕組みについて学ぶ小学4年生を対象に、「下水道の仕組み」について説明しました。

授業の内容は、以下のふたつです。

- ①下水道協会のHP スイスイ君を用いた「下水道の仕組み」の説明。
- ②「なぜティッシュを流していけないの?」と題した、トイレトーパーとティッシュの簡易な溶解実験。

授業は、子供たちが目を輝かせ積極的に質問する事態となり、水コン協中部支部の説明員もタジタジとなる状況でした。さらに、既に子供たちは



写真-8 出前授業開始前の様子



写真-9 簡易溶解実験開始直後の様子

名古屋市浄水場施設などを見学しており驚くほど正確な知識を持っていました。

今年度も和やかな雰囲気の中で授業が進められ無事終了しました。今後は「別の学校での出前授業実施」など、展開が課題となっています。

(6) 富山県下水道フェスタ'17への参加

中部支部

中部支部では毎年、支部内の「下水道フェア」に協賛参加しています。過去には愛知県の各流域下水道フェアに参加し、十数年継続実施してきました。今年は一昨年に引き続き、9月9日に開催された「富山県下水道フェスタ'17」に参加しました。具体的な活動目標は以下のとおりです。

- ①「簡単なゲーム（ボウガンダーツ）の賞品として、冷たく冷やした「中部各地のおいしい水」を配布し、我々が活動している中部地区の「水」が如何に美味しいか・素晴らしいかを体験して頂く。
- ②水の循環を知って頂くとともに、水や上下水道システムのありがたさを再確認して頂く。
- ③水コン協の活動を知って頂く。

賞品の「水」は中部地区内の自治体等が販売されている「水道水主体のペットボトル水」です。いくつかの自治体からは無償で提供頂いています。

子供・大人を問わず大変好評な企画で、用意した賞品の「水」約600本は「あっという間」に無くなってしまいました。また、中部支部マスコット「エアリス」の物語と団扇も、水コン協の宣伝に一役かってくれました。



写真-10 中部支部マスコット「エアリス」



写真-11 富山県下水道フェスタ'17
ポウガンダーツの様様



写真-13 猪名川利倉橋左岸24地点で集めたごみを
分別する関西支部の皆様



写真-12 富山県下水道フェスタ'17 中部支部の皆様



写真-14 猪名川水質測定状況

(7)「第14回猪名川クリーン作戦」 関西支部

平成29年2月4日(土)に開催された「第14回猪名川クリーン作戦」に、関西支部から会員会社の職員及び家族合わせて総勢31名が参加し、猪名川河川敷のごみ拾いと河川水質調査を実施致しました。

水質調査については、猪名川の水を汲み、水温、pH、DO、COD、 $\text{NH}_4\text{-N}$ 、 $\text{NO}_3\text{-N}$ 、 $\text{PO}_4\text{-N}$ の7項目について調べました。低水温期にもかかわらず $\text{NH}_4\text{-N}$ 濃度は1mg/L、 $\text{NO}_3\text{-N}$ 濃度は9mg/Lであったことから、上流の猪名川流域下水道原田下水処理場の高度処理導入効果が明らかでありました。

また、本地点でのごみの実態としては、以前から様々な団体が継続的に清掃活動をしているものの、川沿いへの不法投棄が後を絶たず、さらに、上流からのごみが流れ着いた中州では、容易にごみの撤去ができない状況にあり、猪名川の景観や水生生物の保全のためには、下水処理場の水処理能力(ハード面)のみならず、地域住民や河川利



写真-15 猪名川クリーン作戦関西支部参加者

用者などの環境保全に対する意識の向上ならびに次世代への教育(ソフト面)がより一層求められています。

今回、大人から子供までこのようなイベントに参加することで「楽しく」かつ「大切なこと」を学び、さらに猪名川の環境改善への貢献と水環境への理解を深め、大変有意義な一日を過ごすことができました。

(8)「ラブアース・クリーンアップ2017 inふくつ」

九州支部

ラブアース・クリーンアップ福岡地区実行委員会が主催する「ラブアース・クリーンアップ2017 inふくつ」は、平成29年5月21日（日）に開催されました。

会場は福岡・津屋崎海岸一帯で、海岸に散乱しているゴミの清掃作業を通じて環境保全の重要性についての意識の向上を図るものです。九州支部からは98名（大人78名、子供20名）が参加致しました。大量のごみが集められ、環境保全の重要性を大いに認識できました。



写真-16 「ラブアース・クリーンアップ2017 inふくつ」九州支部参加者の清掃作業風景



写真-17 「ラブアース・クリーンアップ2017 inふくつ」九州支部参加者

(9)「北九州～中津ウォーキング大会2017」

九州支部

耶馬溪導水の完成により「湧水に強い北九州市」が実現して20周年を迎えたことを記念して昨年度から開催されています「北九州～中津ウォーキン



写真-18 北九州～中津ウォーキング大会2017 給水所の様子



写真-19 北九州～中津ウォーキング大会 一般参加者

グ大会2017」は、水源のある中津市と北九州市の主催で、平成29年10月14日（土）、中津市をスターとして北九州市までを①50km②20km③10kmの3コースに別れて、日頃から鍛えた健脚で老若男女が爽やかな汗を掻いてウォーキングを楽しみました。水コン協九州支部は、協賛団体の一つとして豊前市内に設置された給水ポイントにて、4名で給水活動と参加者へのエールを行いました。

(10) 第20回「耶馬の森林」植樹の集い

九州支部

「耶馬の森」育成協議会が主催する第20回「耶馬の森林」植樹の集いが、平成29年11月4日（土）大分県耶馬溪ダム湖畔で開催されました。

本事業は、耶馬溪導水事業の完成により、下流域の中津市から北九州市まで約127万人が、毎日『水』の恩恵を受けて暮らしていますが、過疎化・少子高齢化の進展により豊かな水を育む森林の維持・管理が危惧される状況にあることから、水源

涵養のための植樹を行うことを通じて、水源保全に貢献し、併せてその重要性を認識するものです。九州支部からは会員とその家族合わせて23名が

参加致しました。植樹の作業をとおして水源保全の重要性を大いに再確認致しました。



写真-20 「耶馬の森林」植樹九州支部参加者の作業風景



写真-21 「耶馬の森林」植樹九州支部参加者